

6 本時

(1) 人の言動にひきずられないで、自分が正しいと考えたことに従って行動することの大切さに気づかせ、よりよい仲間集団をつくろうとする態度を身につける。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 教師の範読を聞く。</p> <p>2 帰り道での、えりちゃんの気持ちについて話し合う。</p>	<p>・登場人物を確認し、友だち4人の関係をつかませる。</p>
<p>「うん、べつにいいよ」と返事したえりちゃんの気持ちを考えよう</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本当は違う係になりたい ↓葛藤 ・仲間はずれになりたくない ・友だちに合わせた ・自分だけ違う係になれない ・あいちゃんと友達になれてうれしい <p>3 お母さんに「他の子とはもう遊べへんの」といわれたとき、えりちゃんはどうのように返事をしたのかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本当は違う係になりたいが、それを言い出せないえりちゃんの本音を考えさせる。 ・「他の子と遊んだらあかんで」という言葉については、それほど気にしていないことをおさえる。 ・いつもより大きな「ただいま」の声から、愛ちゃんたちの仲間になれたうれしさに気づかせる ・「ほかの子と遊べへんの」という母の問いがえりちゃんの自分勝手さに向けられていることを理解する。
<p>「それで、ほかの子とはもう遊べへんの」といわれたとき、えりちゃんはどんな返事をしたのでしょうか</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ドキッとして何も言えない ・本当は違う係になりたかった ・他の友達ともやっぱり遊びたい ・明日、あいちゃんと話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような返事をしたのか考えさせ、その理由まで発表させる。 ・「ほかの子とは遊ばない」という仲間意識のいびつさに気づかせる。
<p>4 次の日、あいちゃんに出会ったとき、えりちゃんはどうしたのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり同じ係りにはならへん ・4人だけではなく他の友達とも遊びたい ・やくそくげんまんしたけどやっぱりそんなやくそくはできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「約束はやはり守る」「違う係になる」「違う子とも遊ぶ」など、心の葛藤に気づかせ、ワークシートに整理させる。 ・自分の意見が遠慮なく言え、互いに信頼し、助け合える人間関係づくりの必要性に気づかせる。 ・えりちゃんがどうしたのかをワークシートに記述させ、役割演技をすることで新たな人間関係を作り上げる道徳的実践力を身につけさせたい。その際には、あいちゃん役を教師が演じ、児童の意見を引き出したい。